

原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整 (平成 20 年 4～6 月検針分)

平成 20 年 1 月 31 日

宮崎ガス株式会社

本日、平成 19 年 10～12 月の LNG 等輸入価格（貿易統計値）が発表されました。

当社は、「原料費調整制度」に基づき、原料価格の変動が基準原料価格の 5% を超えたため、基準単価料金（平成 18 年 4 月改定、平成 19 年 4 月消費税総額表示方式に改定）に対する調整を行うこととなりました。

これにより、平成 20 年 4 月～6 月検針分の従量料金単価は、平成 20 年 1 月～3 月に比べ 1 m³（46.04655MJ）当たり 5.27 円（消費税込み）、モデル家庭のガス料金は、1 ヶ月あたり 158 円（消費税込み）の値上げとなります。

平成 20 年 4～6 月検針分に適用するガス料金は、3 月の検針票であらかじめお客様にお知らせいたします。

(1) 平均原料価格（10 円未満の端数は、四捨五入）

	平成 20 年 1～3 月	平成 20 年 4～6 月	基準平均原料価格
LNG 平均輸入価格 (貿易統計値)	47,130 円 / t	52,720 円 / t	
液化プロパン平均輸入価格 (貿易統計値)	71,660 円 / t	79,820 円 / t	
液化ブタン平均輸入価格 (貿易統計値)	72,410 円 / t	84,550 円 / t	
平均原料価格 (LNG 換算)	48,110 円 / t	53,870 円 / t	40,780 円 / t

※平均原料価格 = LNG 平均輸入価格 × 0.9251 + プロパン平均価格 × 0.043 + ブタン平均価格 × 0.0197

(2) 原料価格変動額（100 円未満の端数は切り捨て）

$$53,870 \text{ 円 / t} - 40,780 \text{ 円 / t} = +13,000 \text{ 円 / t}$$

(3) 調整額

平均原料価格が、基準平均原料価格に対して 5%（2,040 円）を超えているので、従量料金単価を調整します。

$$1 \text{ m}^3 \text{ 当たり} \quad +12.01 \text{ 円} \quad (\text{消費税込み}) \quad \text{消費税率}$$

$$(\text{算式}) \quad 0.088 \text{ 円} \quad (100 \text{ 円あたり調整額}) \times (+13,000 \text{ 円} / 100 \text{ 円}) \times (1 + 0.05)$$

(計算結果の小数点第 3 位以下の端数は切り捨て)

(4) 従量料金単価(消費税込み)

* (算式) 基準単位料金(消費税込み) + 調整額(消費税込み)

1 3 A	基準単位料金	1~3 月検針分 (a)	4~6 月検針分 (b)	影響額 (b - a)
料金表 A (0 ~ 1 6 m ³)	237.46 円	244.20 円	249.47 円	+5.27 円
料金表 B (1 7 ~ 8 1 m ³)	194.68 円	201.42 円	206.69 円	
料金表 C (8 2 m ³ 以上)	177.92 円	184.66 円	189.93 円	
調整額		6.74 円	12.01 円	

(5) ガス料金への影響 (モデル家庭の 1 ヶ月ご使用例、消費税込み)

1 ヶ月のご使用量	1~3 月検針分 (a)	4~6 月検針分 (b)	影響額 (b - a)
3 0 m ³	7,445 円	7,603 円	+158 円

○ モデル家庭の料金の計算方法

ガス料金 = 基本料金 (1,402.80 円) + 従量料金 (206.69 円) × 30m³

※ 1 円未満の端数は切り捨て

(6) ガス料金の計算式

ガス料金 = 基本料金 (消費税込み) + 従量料金単価 (消費税込み) × 使用量

※ 1 円未満の端数は切り捨て

ガ ス 料 金 表 (消費税込み)

平成 20 年 4~6 月検針分

	料金表 A	料金表 B	料金表 C
月間使用量	0 ~ 1 6 m ³	1 7 ~ 8 1 m ³	8 2 m ³ 以上
基本料金 (円/月)	718.20 円	1,402.80 円	2,760.45 円
従量料金 (円/月)	249.47 円	206.69 円	189.93 円